

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
平成29年度第2回事業普及委員会議事録

- I. 日時 平成29年8月4日(金) 18:00~20:00  
場所 公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局、  
II. 出席者 向殿担当理事、今泉委員長、波多野委員、尾崎委員、山本委員、木村委員、戸高顧問、  
双葉坂元社長(事務局 井端事務局長、中村、岡職員)

III. 検討内容

今回は、2017年度機関誌 No.2(9月号)の原稿確認と No.3(12月号)の企画について検討した。

1. 2017年度機関誌 No.2(9月号)の原稿内容及び編集確認について

- ① 特集「モバイル等を活用したアクティブ・ラーニング」では、以下について原稿の内容を精査し、図表の強調及び掲載資料の可視化に配慮して編集することにした。
- ・「大人数講義での双方向授業の考察」 神戸学院大学佐野氏
  - ・「PCとモバイルを活用したアクティブ・ラーニング環境」 中京大学宮田氏
  - ・「スマートフォン等を活用した大人数授業の改善」 小樽商科大学大津氏
  - ・「自分で考え、学ぶことを意識する双方向授業」 日本大学久保田氏
  - ・「モバイル・PCを利用したクリッカーによる授業改善」 中部大学杉井氏
- なお、特集のリード部分は、学生が日常使用しているモバイル端末を通じたアクティブ・ラーニングへの活用と学外での実践体験を共有できる環境作りの可能性を紹介することにした。
- ② 教育・学習支援への取り組みでは、「LNS導入を契機とした全学的学習支援の取り組み」として、北海学園大学からの原稿と大学の写真を掲載することに修正した。
- ③ 大学の組織的な取り組みの工夫では、学修成果の可視化と質保証への取り組み事例として、以下について原稿の内容を精査し、図表及び掲載資料の可視化に配慮して編集することにした。
- ・「学修成果の可視化への取り組み～新潟工科大学の例」 新潟工科大学飯野氏
  - ・「eシラバスによるアクティブ・ラーニングの推進と自己成長シートによる学修成果の可視化～金沢工業大学の例」 金沢工業大学山本氏
  - ・「全学基盤力テストと外部評価による質保証への取り組み～山形大学の例」 山形大学千代氏
- ④ 事業活動報告の「ICTを活用した教育改善モデルの紹介(経済学分野)」については、平成24年度に上梓した教育改善モデルの研究成果を広く理解いただくことを目的とし、今回から抜粋して機関誌で紹介していくことを明記した。また、「学修ポートフォリオシステムの導入・活用等の参考指針」については、4の「eポートフォリオシステム構築に伴う留意点」に限定して掲載するとともに、資料は「eポートフォリオ画面の目次」と画面の一部の紹介にとどめることにした。
- ⑤ 「政府関係機関事業紹介」として、新たに国立情報学研究所から掲載依頼のあった「学習クラウド導入支援サービス」を掲載することにした。
- ⑥ 「賛助だより」は、東通産業、SIGEL、住友電設、朝日ネットに依頼したが、東通産業と朝日ネットから原稿提出があり、編集して掲載することにした。

2. 2017年度機関誌 No.3の企画について

- ① 「巻頭言」については、昭和女子大学の学長に原稿依頼することにした。
- ② 特集は、情報教育委員会、情報リテラシー・情報倫理分科会、分野別情報教育分科会が合同して研究している「問題発見・解決思考の情報リテラシーモデル研究」の中間報告について、本年度教育改革 ICT 戦略大会にて報告し、意見交換した内容を掲載することになり、以下の構成で原稿依頼することにした。
- ・「問題発見・解決思考の情報リテラシー教育モデルの研究(中間報)」 玉田氏(8P)、大原氏(3P)
  - ・「文系(経済学)教育における情報リテラシー教育授業モデル案の例」 児島氏(1P)
  - ・「理系(機械工学)教育における情報リテラシー教育授業モデル案の例」 角田氏(1P)
  - ・「医療系(薬学)教育における情報リテラシー教育授業モデル案」 大谷氏(1P)
  - ・「栄養学系教育における情報リテラシー教育授業モデル案の例」 武藤氏(1P)
  - ・「実習系(被服学)教育における情報リテラシー教育授業モデル案の例」 阿部氏(1P)
- ③ 「教育・学修支援への取り組み」は、「ICTを活用した教育・学修支援の取り組み」として帝京大学に執筆依頼することにした。
- ④ 「事業活動報告」は、以下の活動を掲載することにした。
- ・「ICTを活用した分野別教育改善モデルの紹介(医学分野)」
  - ・「平成29年度大学職員情報化研究講習会の開催結果[基礎講習コース]」
  - ・「平成29年度ICT利用による教育改善研究発表会の実施結果」
  - ・「平成29年度教育改革ICT戦略大会の開催結果」
  - ・「平成29年度大学情報セキュリティ研究講習会の開催結果」
- ⑤ 「賛助だより」は、日本ヒューレット・パッカー、清水建設に依頼することにした。
- ⑥ その他、「募集」、「入会案内」、「投稿規程」、「会員名簿」等とした。

3. その他(次回の日程について)

次回日程は、平成29年10月27日(金) 18時とし、平成29年度(No.2)の原稿確認を検討することにした。